

報道関係各位

2022年4月6日

株式会社日本レースプロモーション
東京電力エナジーパートナー株式会社
日本自然エネルギー株式会社

カーボンニュートラルの実現に向けた SUPER FORMULA でのグリーン電力導入について

ー日本レースプロモーション・東京電力エナジーパートナー・日本自然エネルギーがパートナーシップを締結ー

全日本スーパーフォーミュラ選手権^{*1}（以下 SUPER FORMULA）を開催する株式会社日本レースプロモーション（以下 JRP、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野禎久）は、2022年以降の SUPER FORMULA のレース開催におけるサーキットの使用電力のカーボンニュートラル化に向け、東京電力エナジーパートナー株式会社（以下東電 EP、本社：東京都中央区、代表取締役社長：秋本展秀）及び東電 EP の子会社である日本自然エネルギー株式会社（以下 JNE、本社：東京都品川区、代表取締役社長：加藤圭輝）の2社と、4月1日付でパートナーシップを締結いたしました。

JRP は昨年10月25日に、2022年以降のサステナブルなモータースポーツ業界づくりを目的としたプロジェクト『SUPER FORMULA NEXT50 〈ゴ-〉（以下 SF NEXT50）』を通じ、「モビリティにおけるカーボンニュートラルの実現」を推進することを発表しましたが、車両以外の面でもカーボンニュートラルの実現に向けてできる取り組みの一つとして、東電 EP 及び JNE（以下、東電グループ）が提供するグリーン電力証書システム^{*2}を活用することで、大会期間中のサーキットの使用電力相当のグリーン電力化を支援してまいります。

まずは、4月9日（土）・10日（日）に開幕戦を迎える富士スピードウェイにおける大会2日間の使用電力に相当する約12,000kWhのグリーン電力証書を発行することにより、CO₂排出量を約5,300kg-CO₂削減いたします。

その後の大会においても、段階的に各サーキットにおけるグリーン電力化の支援を JRP・東電グループ一体となって取り組んでまいります。また、東電グループでは、グリーン電力証書システムの他にも、お客様のカーボンニュートラルに関するお困りごとへのサポートを実施しており、引き続き、各サーキット独自のカーボンニュートラルに向けた取り組みと連携することにより、モータースポーツ業界全体でその輪を広げてまいります。

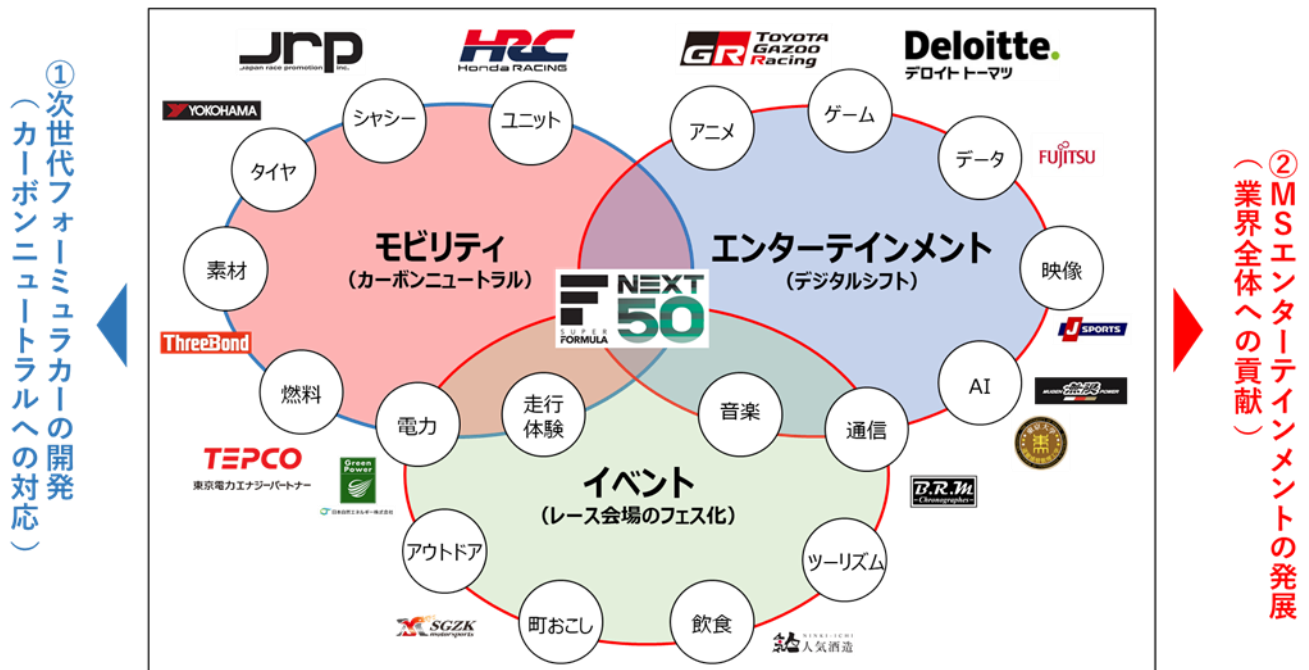


(グリーン電力証書に用いられる Green Power マーク)

JRP は、サステナブルなモータースポーツ業界づくりに貢献するために、また、SUPER FORMULA が日本から世界に代表されるレースとして成長するために、『SF NEXT50』の活動を通じ、多くのパートナー、ファンの皆さまと共に、これからの社会に求められるモータースポーツを模索してまいります。

いよいよ今週末4月9日(土)・10日(日)に開幕する2022年シーズンのSUPER FORMULA に是非ともご期待ください。

SUPER FORMULA NEXT 50パートナーシップの目指す姿

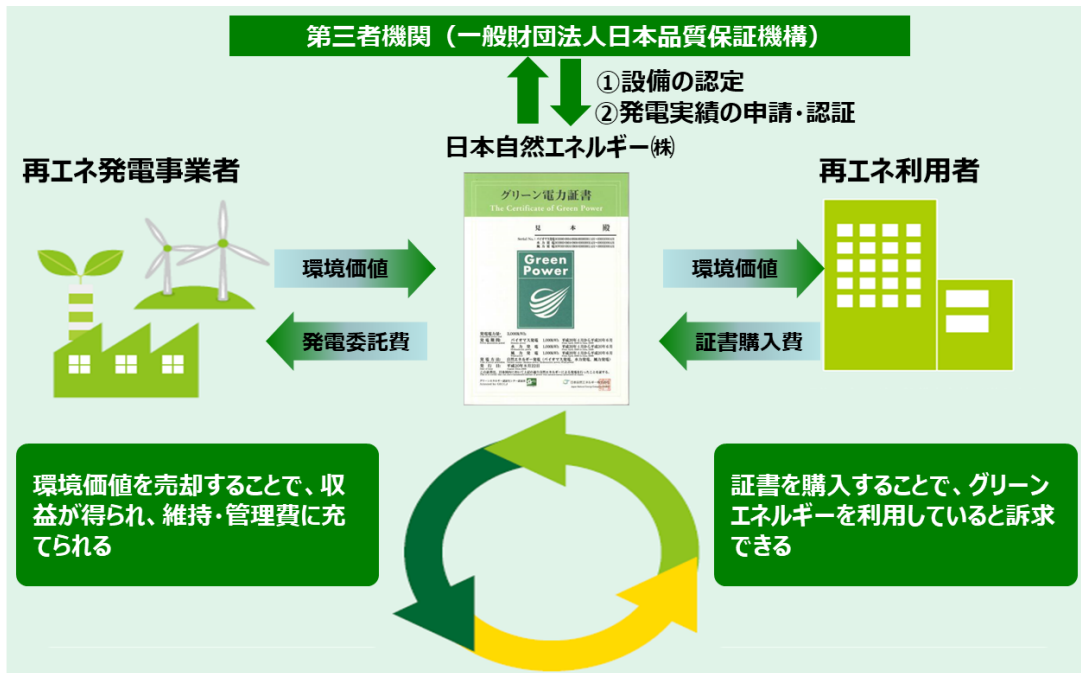


* 1 : 全日本スーパーフォーミュラ選手権

日本のみならずアジア圏の最高峰に位置するフォーミュラカーによるレースのシリーズ(選手権)です。

* 2 : グリーン電力証書システムについて

再生可能エネルギーにより発電された環境価値を、第三者認証機関(一般財団法人日本品質保証機構)の認証を得て、「グリーン電力証書」というかたちで取引する仕組みです。グリーン電力証書により、現在の電力供給を維持しつつ、グリーン電力を利用しているとみなすことができます。



(グリーン電力証書発行までのスキーム図)

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
(株)日本レースプロモーション広報事務局：上坂
Email: media@superformula.net

東京電力エナジーパートナー株式会社 広報企画グループ：050-3116-3147

SUPER FORMULA オフィシャルサイト
<https://superformula.net/sf2/>

SUPER FORMULA NEXT50 はパートナー企業の皆様と共に推進しています。

